

# 明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第37号 平成19年5月発行

## ○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます!!



## 金華山地域 達目洞地区指定&春の活動!!

- ・達目洞ヒメコウホネ特別保全地区&管理団体の指定（3月15日、4月12日）
- ・自生地水路の整備活動&移植作業（4月21日）
- ・竹林の間伐作業（5月13日）

## ○達目洞ヒメコウホネ特別保全地区&管理団体の指定

平成19年3月15日に岐阜市は「岐阜市自然環境の保全に関する条例」に基づき達目洞のヒメコウホネ自生地を『**自然環境保全地区（達目洞ヒメコウホネ特別保全地区）**』に指定しました。

また、この地区指定に伴い4月12日には、特別保全地区の**管理団体**として「達目洞自然の会」に指定証書が手渡されるとともに、5名の市民の方を「**岐阜市自然環境保護監視員**」に委嘱しました。

この特別保全地区指定、及び管理団体指定は、約15年間に亘る保全活動の実績と、達目洞の自然に対する市民の熱い想い、そして**市民と行政とのパートナーシップの成立**（目的の共有化）があったからこそ実現したものです。



ヒメコウホネ特別保全地区の管理団体に「達目洞自然の会」を指定!



行政が市民活動の高まりを受け、その活動を評価し支援するため、行政の役割として「地区指定」という形に至った今回の事例は、「市民協働による自然環境保全」のひとつのモデルケースだと考えます。

「達目洞自然の会」監修による達目洞マップを作成しました。  
入手希望者は自然環境室まで。

## ○自生地水路の整備活動&移植作業

達目洞を取り巻く樹々の若葉がいつせいに展葉しはじめた4月の第3土曜日から、今年度の保全活動が始まりました。

4月の保全活動では毎年恒例のヒメコウホネが花を咲かせる前の水路の整備を行いました。ヒメコウホネの生育を圧迫する水草を間引くと共に、一部ヒメコウホネが姿を消してしまった箇所への移植作業も行いました。

その他にも、今年も取り組むこととなった稲作のために、水田内の枯草の除去作業や、冬の間イノシシに壊された水田の畦を修復する作業を行いました。今年は餅米づくりにも挑戦するようです。去年はかなり苦戦したようですが、さて、今年はどうなるのでしょうか？

## ○竹林の間伐作業

5月には、ヒメコウホネ自生地の逆川上流に位置する竹林の間伐作業を行いました。達目洞の竹林も、他所の地域と同様、なかなか管理しきれずやや混み合った“竹藪”に近い状況になりつつあります。そこで、適切な密度管理をするための間伐作業を行いました。

整備できた竹林は全体の極々一部ですが、無理のない範囲で楽しみながら竹林の管理も進めています。



ヒメコウホネ群落の維持管理の一環として移植作業を行いました。



慣れない田んぼの畦づくりにみんなへトへト。 ちょっとひと休み。



古い竹から順番に、適切な間隔を保つよう間伐をしていきます。  
今回切りだした竹は、日比野克彦さん監修によるイベントの巨大行灯の骨組みとして利用されます。

## ○おわりに

達目洞では、市民を中心とした活動が継続し、行政がこれを支援、そして市民活動が更に盛り上がっていくという、良い形でのスパイラルができつつあるようです。

このような取り組みを市内各地に更に広げるため、これからも各地域の自然環境活動を市民と行政が力を合わせて推し進め、岐阜市の誇るべき自然を守り育てていきたいと思います！！



### 「自然ふれあい活動支援業務」に関するお問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 自然環境室 担当：吉村

TEL：058-265-4141（内線：6452） FAX：058-267-1374

E-mail：shizen@city.gifu.gifu.jp

自然環境室 HP アドレス：http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html